



重大発表 “よい子の登山用語集”の連載終了に伴い、来月からいよいよ imonee のライフワークである、“imonee 百名山”の執筆にとりかかろうと思っています。なお、ここでいう“百名山”とは百座ではなく、いくつでもいっけととりあえずいっぱいあるよという意味のアバウト概数です。

I Love 八ヶ岳♥

私は勝手に6月を“八ヶ岳月間”と決めてますが、八ヶ岳は一年中楽しめる素晴らしい山域です(※ただし、7~8月はアブが多いから登ったことがない)。みんな大好き八ヶ岳♥誰でも登れる(?)八ヶ岳♥というわけで、今回は八ヶ岳のどこかの山頂あるいは池から撮った写真のクイズです。これはどの山頂(池)からの眺めでしょう? 簡単なのでふるってご回答ください! 目標3人以上!

Q1 岳からの眺望



Q2 岳からの眺望



Q3 岳からの眺望



Q4 山からの眺望



Q5 山



Q6 岳からの眺望



Q7 岳からの眺望



Q8 岳からの眺望



Q9 からの眺望



Q10 岳からの眺望



Q11 池



NEWS!! imonee のレコ画像が **YAMA HACK** で使用されました!

何故か飯縄山を紹介する記事ということで、戸隠キャンプ場からのコースとして、私の撮った瑠璃山の山頂画像が使用されました! 「飯縄山なんてわざわざ他県から登りに来るのか」と現地のバスの運転手さんに驚かれたけど、私の素晴らしい飯縄山&瑠璃山レコを夜露死苦!

<https://yamahack.com/2578> 記録ID: 863933



たくさんのご参加(2名)誠にありがとうございました!

前号 祝2周年クイズの答え

- Q1…烏帽子岳(阿蘇五岳) Q2…暮山
- Q3…鹿島槍ヶ岳 Q4…鬼ヶ岳
- Q5…高千穂峰
- Q6…丹沢山~塔ノ岳の稜線
- Q7…竜ヶ岳 Q8…天城山



今月の妄想登山

実現率:5%

池ノ平に行ってみよう!!!

※白樺リゾート♪池の平ホ・テル♪のことではありません。

唐突だが、秘境・池ノ平に行ってみようのである。毛木平には行ったことがあるのだが…(何のこっちゃ)近くには「仙人山」「仙人峠」「仙人新道」など、何やら仙人が修行していそうな、山奥の奥の奥の雰囲気。きっと紅葉が美しいに違いない(つーか、雑誌で写真を見たことがあるんだけど)。しかも、「どこ行って来たの?」「ああ、池ノ平」「えっ? どこそこ?」「何だ、知らないの?」「こんなやりとりを想像しては悦に入る私(←誰との会話だ?)。と思ってるのは私だけで、池ノ平ってもしかしてすごく有名かもしれないけど、周囲には破線ルートも多いし、個人的に秘境と認定したい。雲ノ平だってあれだけ賑やかなのに秘境って言い張ってるもんね。テントを背負って秘境の山歩き、何て素敵♡

モデルプラン(4泊5日)

- 1日目:室堂スタート→剣沢キャンプ場泊
(標準コースタイム3時間25分/4.6km)
- 2日目:剣沢→真砂沢ロッジ→池ノ平キャンプ場泊
(標準コースタイム6時間20分/7.1km)
- 3日目:池ノ平山往復したりのんびり♡
(標準コースタイム2時間10分/2.4km)
- 4日目:池ノ平→阿曾原温泉小屋テン泊
(標準コースタイム6時間30分/7.8km)
- 5日目:阿曾原温泉→水平歩道→樺平
(標準コースタイム5時間52分/10km)



水平歩道いくなら、やっぱり下の廊下も…



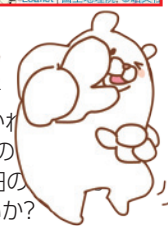
剣岳に登る実力のない私が、本来なら踏み入れることのない秘境エリア。実線ルートでも難しいだろうか?

よい子のとせん用ごしゅう

※用語のチョイスはWikipedia「登山用語」一覧より引用

- ★マッターホルン…日本のマッターホルンは槍ヶ岳。ちょっと違うような気もするが。
- ★右俣…分岐する川を下流から上流側を見たとき、右側に分かいた水道を指すこともある。とにかく山では水が貴重なので、無駄にすることも汚すことも許されぬ。ラーメンの残り汁なんか飲み干せば、テン場にあるただの水道を指すこともある。とにかく山では水が貴重なので、無駄にすることも汚すことも許されぬ。ラーメンの残り汁なんか飲み干せば、テン場にあるただの水道を指すこともある。
- ★モルゲンロート…日の出により山や雲が赤く染まること。何故かアーベントルートより知名度が高い気がする。ご来光を見たい人が多いせいか?
- ★山ガール…おしゃれなファッションを楽しみながら山に登る若い女性のこと。しかし、彼女たちをきっかけに、他の登山者もかなりオサレに目覚めたような気がする。昔ながらの山シャツ(チェックのやつ)は最近見かけない。
- ★山小屋…「丸川荘を初めて見た時は廃屋だと思った」とは私の兄の談。怖い親父がいる(かも)。
- ★廊下…下の廊下を歩きたいけど怖いかなあ?★ワカン…スノーシュー使うより玄人っぽい(気のせい)。
- ★ワンダーフォーゲル…山岳部の部活動の名称。

今月でとうとう最後だよ! You,全部覚えた? さっそく山で活用しよう!



週刊実話 大菩薩峠 第7回



…認めよう。怖いです。空はガスで曇っていて、雨が降ってもおかしくないような灰色。さらにここは樹林帯だ。太陽があっても遮られる。誰も通らないし、目印もない。お化けが出そう。熊が出そう。怖いよ。しかし、山頂からの標識を信じれば、丸川峠には出るはずだ。丸川峠って車道が通ってなかったっけ?(※通ってねーよ)車道に出たら車道を歩くことにしよう。山道より怖くない。それに、もし車が通ったら、ヒッチハイクするか…? でもこんな辺鄙な所、車も通るかどうか…。とにかくその時の私は、非常に怯えていた。とりあえず丸川峠に辿り着けば、小屋があって、人がいるはずだ。私は黙々と下り続けた。(次号に続く)

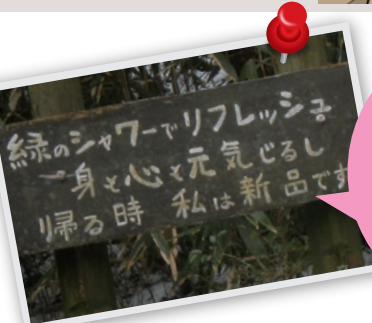
編集長から一言

修行のために十二ヶ岳に登った。私にとっての修験の山旅だ。次々に現れる鎖(ロープ)場という名の試練を乗り越え、雑念を消し煩悩を押し除け、やがて到達した山頂はガスで真っ白くっけ…。また、登山道レベル1で簡単なはずの下山道は急勾配、またしてもロープの連続で緊張を強いられ、終ってみれば歩行距離5.6km、登った標高差は700m弱で、スピードは標準CSより1.3倍強というヘタレすぎる修行は、私に数々の爪痕を残した。じっとしていても痛む手足、寝転がってもだるい手足、立ち上がるにも勇気がいるほどカチコチの足、トイレでケツを拭こうにも力が入らない腕…(;_ ;) 美しくなぞ)すぎる登山者の私は、サボりすぎる山好きであり、太りすぎる修行者で、のろすぎる挑戦者であった。常に手が汚れすぎる山女である私は、痛すぎる女であるが、誰がなんと言おうと幸せすぎるヘタレハイカーなのであった。



今月のQuiz

この看板はどこ(山・山域等)にあるでしょう?



※先月号の答えは赤城の荒山・鍋割山の登山口となる姫百合駐車場のトイレ前でした(´・`)